

「しそう自立の家」サロンコンサート報告とお礼

去る10月22日に、チェシャーホーム「しそう自立の家」にて、移転1周年記念「サロンコンサート」を執り行いました。昨年続く2回目となり、地区の「奉仕プロジェクト特別会計支援金」を活用した事業の一つとして、しそう自立の家、サロンコンサート協会、龍野ロータリークラブの三者による共同開催でした。

チェシャーホームは、さまざまな障害がある人が家に近い環境で、自立した生活ができるように支援する施設。日本では「しそう自立の家」のほか、「はんしん自立の家」「はりま自立の家」があります。

コンサートの冒頭では冨田会長があいさつに立ち、開催趣旨について「サロンコンサートは、国際ロータリーが掲げる『DEI（多様性・公平さ・インクルージョン）』の価値観を具現化した社会奉仕活動の一環として、『しそう自立の家』の新築移転1周年を記念して共同開催したものです。『しそう自立の家』は昨年のリニューアルに伴い、誰もが分け隔てなく共に自分らしくある共生の社会実現に向け、地域の交流・発信の拠点となることを目指してデザインされました。クラシック音楽を通じて共生社会推進の一步になれば幸いです」などと説明されました。

昨年のコンサートはコロナ禍で参加者の人数を制限しましたが、今年は事前にチラシで一般募集も行ったこともあり、当日、会場には、施設の入居者や職員、ロータリー会員、一般参加者を合わせて総勢150名（うち80名が一般参加者）が集い盛況でした。

メインの演奏会では、ヴァイオリン奏者の高橋真珠さん、ピアノ奏者の姫野真紀さんによる、バッハ「G線上のマリア」、ブラームス「ヴァイオリンソナタ第1番『雨の歌』より第一楽章」など5曲に、アンコール2曲も加わり、1時間ほどのクラシック演奏を楽しみました。

今回のロータリーの活動を通じて、「しそう自立の家」という施設を一般参加者にも見学して、知ってもらう機会となりました。お互いの理解がいっそう深まり、地域活性化の一助となってもらいたいと思います。

最後になりますが、スタッフとしてお手伝いをしてくださった会員の皆さま、ありがとうございました。また会場をご提供いただいた「しそう自立の家」、コンサート運営に協力してくださったサロンコンサート協会におかれましては、心よりお礼申し上げます。

